

想いのある家をひらく

本でつながる場づくり

思い出を残しつつ新たな交流の場を提供したい

柴田 晴美 さん（本能学区）

取組に協力した中京マチビトCafé 参加者
 やまさきさちよさん

柴田さんが生まれ育った本能学区にある実家は、昭和16年に石材業に携わっていた祖父が設計し建てられた家です。その後世代を重ねて大勢の家族が暮らし、住まい方にあわせて改築もされました。時代を経て母亡き後空き家となり、すぐ近くに住んでいるので管理には通っておられましたがこのままの状態にはしておけないと改修して住み移ることにされました。家の活用を考えるにあたり、建築当初の趣を残したまま、古い木造建築の良さを活かした行事を開催したいと思うようになりました。また、以前から小規模で身近な図書館がもっと地域に点在すればいいなという思いがずっとあったので、小さな図書館として家を開き、無理のない形で地域とつながりたいという想いが生まれました。

案が浮かんだところで、地元ではあるけれどそれまで地域活動には参加していなかったのでまず知り合いづくりにと、中京マチビトCaféに初めて参加して「小さな図書館をつくりたい」と提案し、たくさんのアイデアを募りました。その時に現在の実家を見たいという希望が出たので、見学会も兼ねて10名以上の方々に後日お越しのいただいたり、参加者の1人だったやまさきさちよさんが「キモノを語るん会」の講演イベントの会場に使われたり、と交流が広がりました。また12月のマチビトCafé“学びと共鳴編”でもテーブル提案しさらに交流が深まっています。



中京マチビトCaféでの様子



見学会での様子

つながりをいかして

中京マチビトCafé“学びと共鳴編”

平成27年12月3日に開催した「マチビト×空き家活用」で話題提供しました。

取り組んでみてのご感想

具体的な取組活動は改修後になるので少し先になりますが、今後、工事計画と並行しながらライブラリー準備会や行事のつどい、古い家の改修工事見学など企画を考えています。マチビトCaféでは私が頭で考えていた「地域」というワクを軽々と超えて輪が広がり、共有していただける方とたくさん出会うことができました。構想（夢想？）を言葉にでき、受けとめ考えてくれる素晴らしい場なので友達にも勧めています。これからの企画や取組の過程もみなさんに伝えて楽しく進めたいと思います。



柴田 晴美 さん